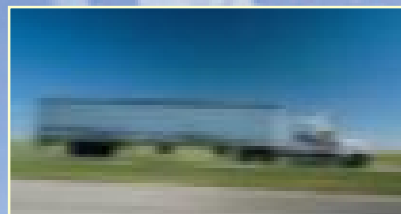
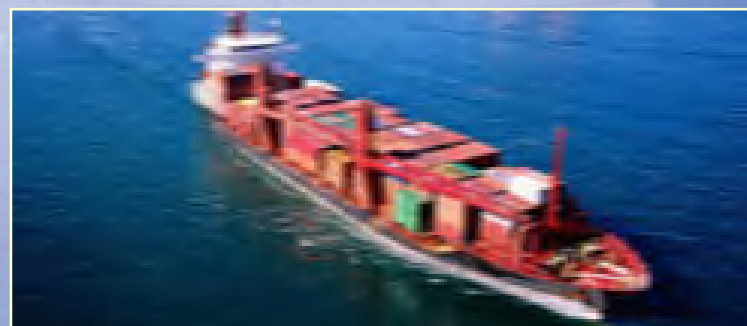


国際総合フレートフォワーダーをめざす

個人投資家様向け
会社説明会資料
2010年7月3日



内外トランスライン株式会社
銘柄コード 9384 (東証二部)

内外トランスラインは

NAIGAI TRANS LINES

NVOCC

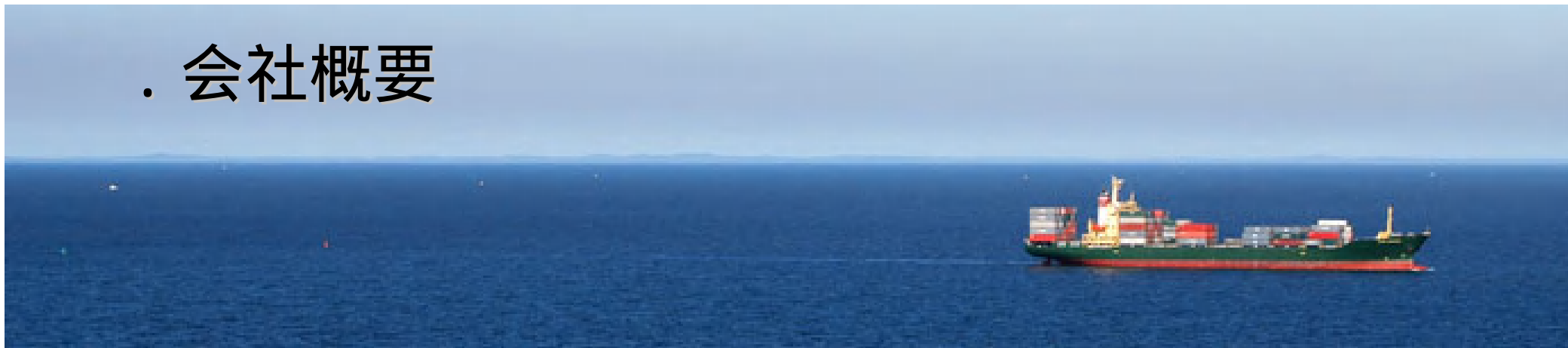
外航海運利用運送業

Non-Vessel Operating Common Carrier

わたしたちは、お客さまに**最適・最速の輸送サービス**を提供する国際海上輸送の**プロ**です。

船舶を所有せず、船会社のスペース（船腹）を借りて利用し、お客さまの貨物を海上輸送します。

. 会社概要



会社概要

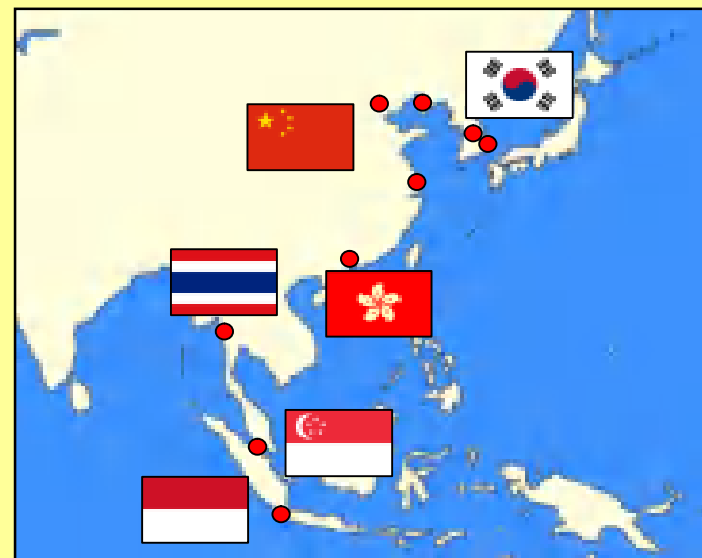
社名	内外トランスライン株式会社
設立	1980年5月1日
代表取締役社長	戸田 徹
本社所在地	大阪府中央区安土町3丁目5番12号
資本金	1億5,651万円
従業員数	331人（連結、2010年6月末現在）
事業内容	外航海運利用運送事業（国土交通省：運貨326・123号） 海陸複合一貫輸送業 陸上運送取次業 船舶代理店業
銘柄コード	9384（東証二部）

本社は安土町・大阪発の会社です



会社の沿革 おかげさまで30年

- 1980年 5月 「内外 SHIPPING 株式会社」設立
- 86年 12月 現社名に商号変更
- 90年 11月 神戸営業所（現神戸支店）を開設
- 91年 12月 第一種利用運送事業（外航海運）許可
- 92年 10月 東京営業所（現東京支店）を開設
- 96年 6月 名古屋営業所（現名古屋支店）を開設
- 97年 4月 シンガポールに現地法人設立
- 98年 8月 横浜営業所（現横浜支店）を開設
- 99年 9月 九州営業所（現門司事務所）を開設
- 2000年 4月 福岡営業所を開設
- 00年 6月 タイに現地法人設立
- 01年 4月 インドネシアに現地法人設立
- 03年 1月 中国に現地法人設立
- 03年 8月 アメリカに現地法人設立
- 03年 9月 韓国に現地法人設立
- 04年 6月 広島営業所を開設
- 06年 2月 香港に現地法人設立
- 08年 11月 東京証券取引所市場第二部に上場
- 09年 2月 中国現地法人 大連支店開設
- 09年 10月 国内子会社「グローバルマリタイム株式会社」設立
- 10年 2月 中国現地法人 広州支店開設



経営理念・企業ビジョン

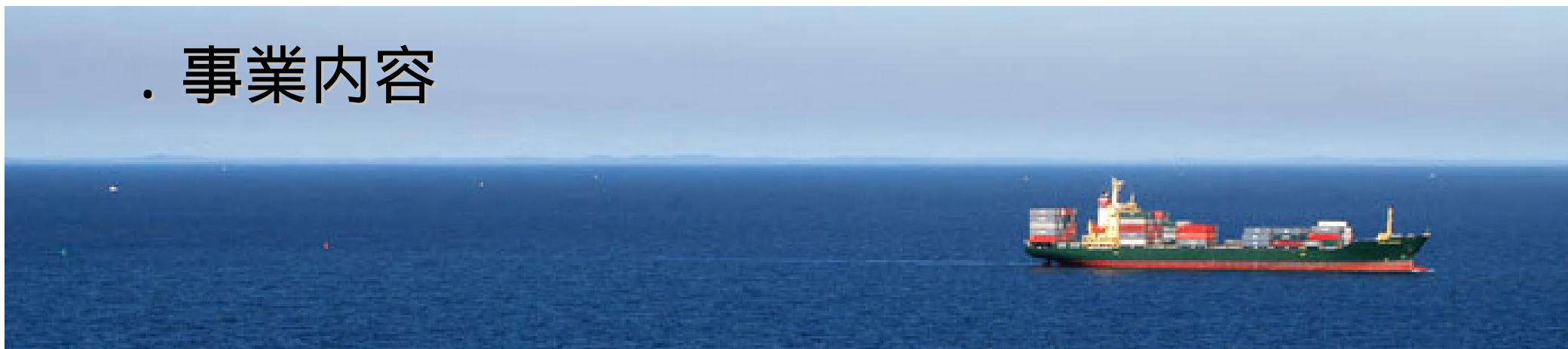
経営理念

私たちは国際貨物輸送事業において、相互扶助の精神とお客さま第一主義を貫き、より質の高いサービスを提供し、安全、確実な輸送を世界に提供してゆきます。

企業ビジョン

- ・ ベストな物流商品とサービスを提供し、心のこもったコミュニケーションを大切にする企業
- ・ 健全な組織と高い生産性を持ち、成長を続ける企業
- ・ 働く者すべてが互いに高め合い、生き生きと仕事をし、未来の更なる豊かさを追求する企業

. 事業内容



事業フロー



仕入先 (船会社・倉庫会社など)

発注 仕入

荷主
(輸出者)

国際輸送サービス(*)
の依頼

国際輸送サービス(*)
の提供



海上輸送

発注 仕入

当社グループ
シンガポール、
タイ、インドネシア
中国、アメリカ、
韓国、香港

又は
代理店
(上記以外の国)

貨物の
引渡し

貨物の
引渡し

荷受人
(輸入者)

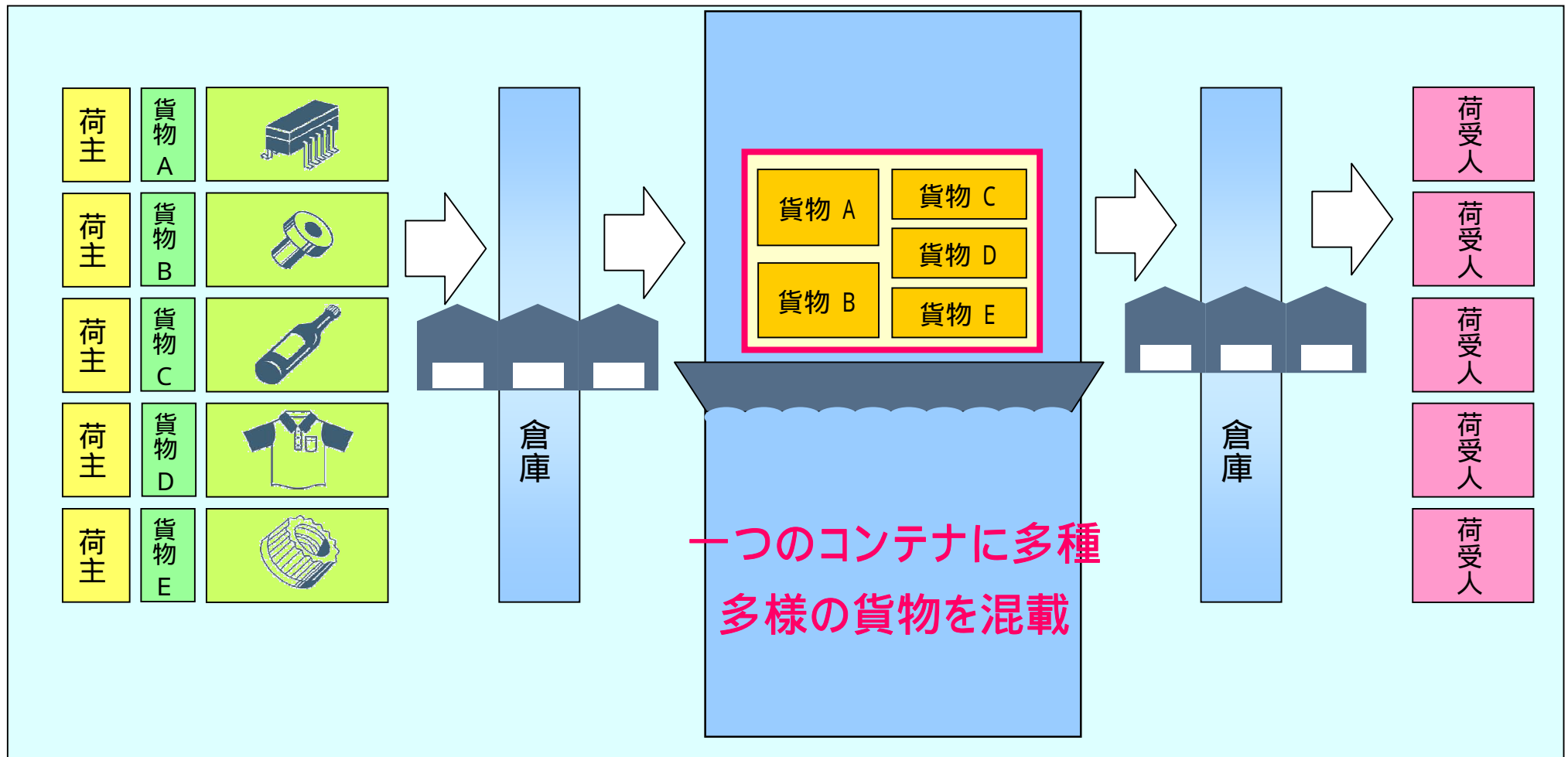
日本

輸入国

* フルコンテナサービス (FCL) または混載サービス (LCL)

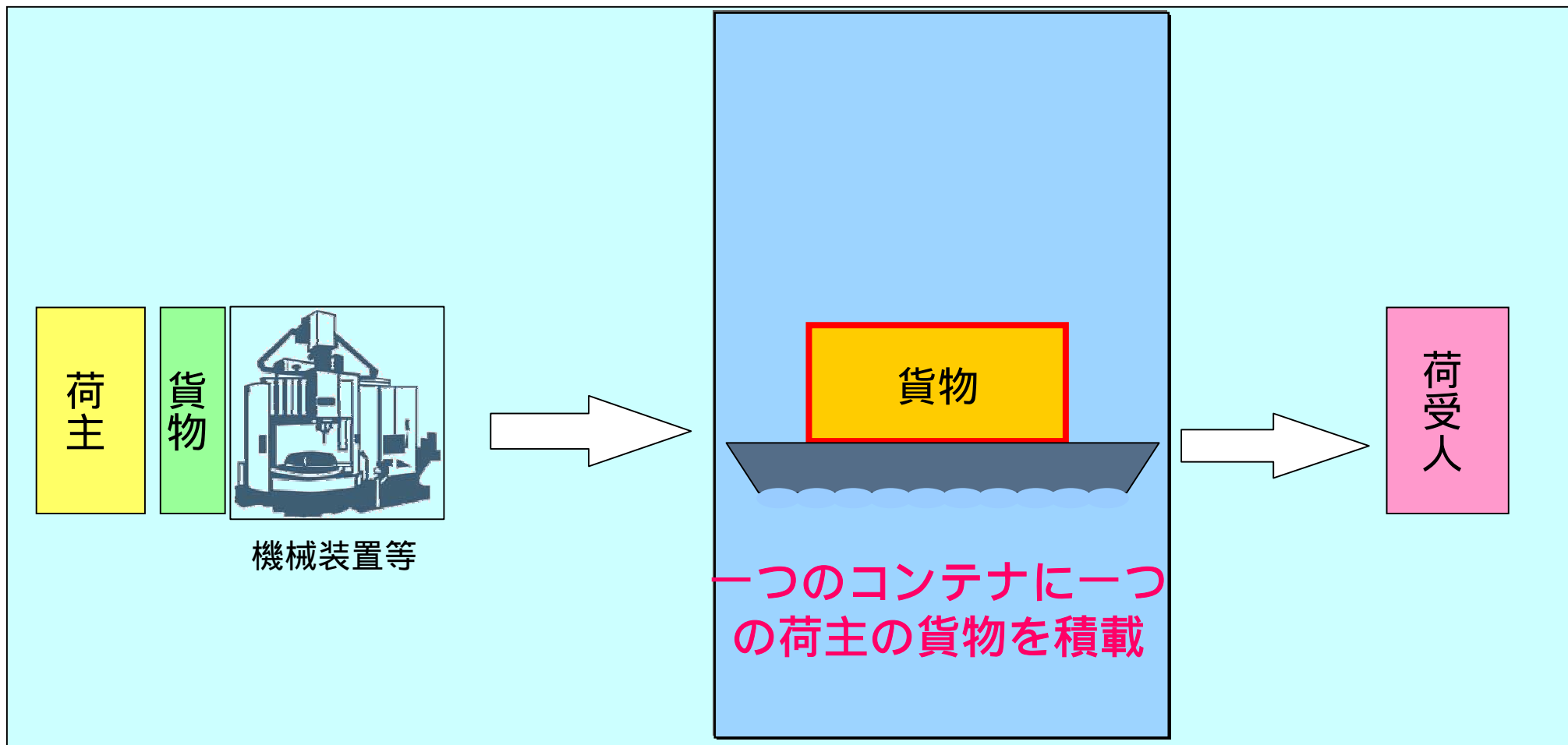
LCLとFCL コンテナ輸送の2形態

混載輸送 (LCL = Less than Container Load)



LCLとFCL コンテナ輸送の2形態

フルコンテナ輸送 (FCL = Full Container Load)



Less than **C**ontainer **L**oad

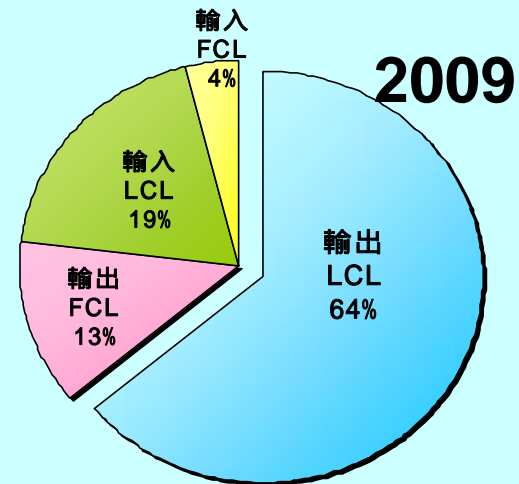
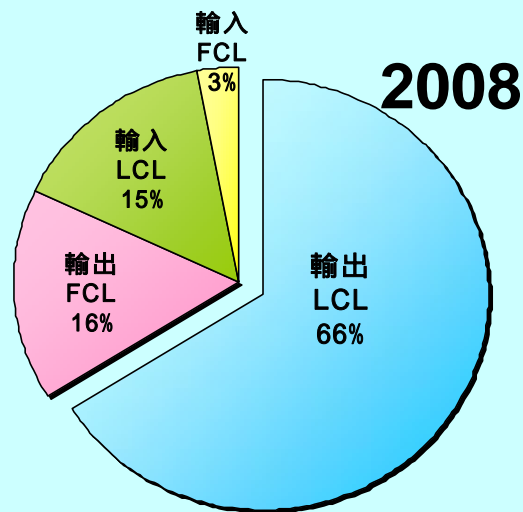
国際海上混載輸送

日本発、No.1。

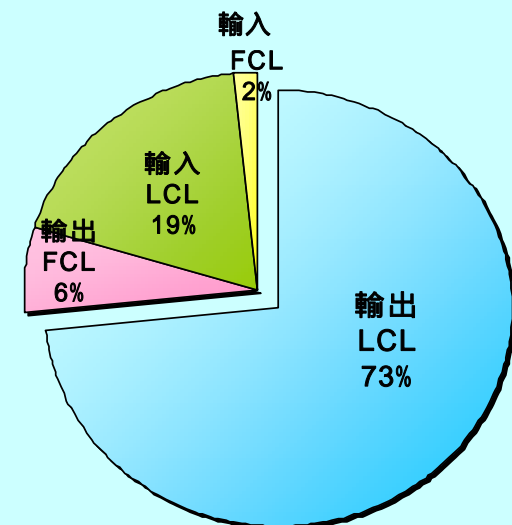
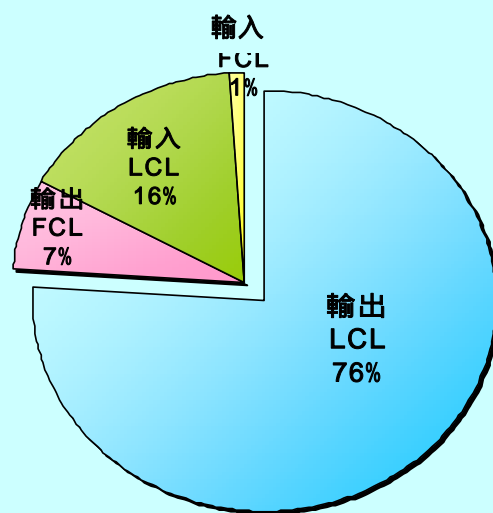
輸出LCLトップシェアの実績

出典：社団法人 日本国際海上コンテナ協会（JIFFA）
「国際複合輸送貨物取扱実績」より当社推定

当社における輸出LCLの比率（単体）



売上高比率



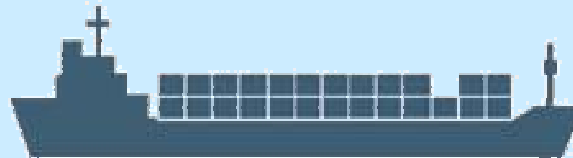
粗利比率

当社の事業内容（まとめ）

(空運)



海 運



(陸運)



当社事業の特徴

当社はノン・アセットの運輸事業者です

NVOCC

国際海上輸送に特化

船舶は持っていない

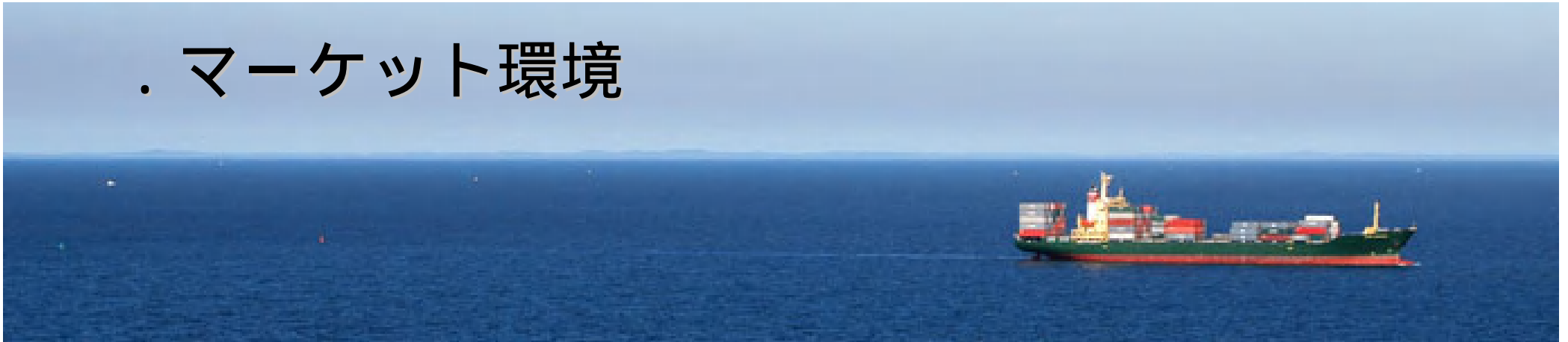
コンテナ混載輸送(LCL)が得意

輸出LCLでは屈指のシェア

世界中に張り巡らされた航路を利用

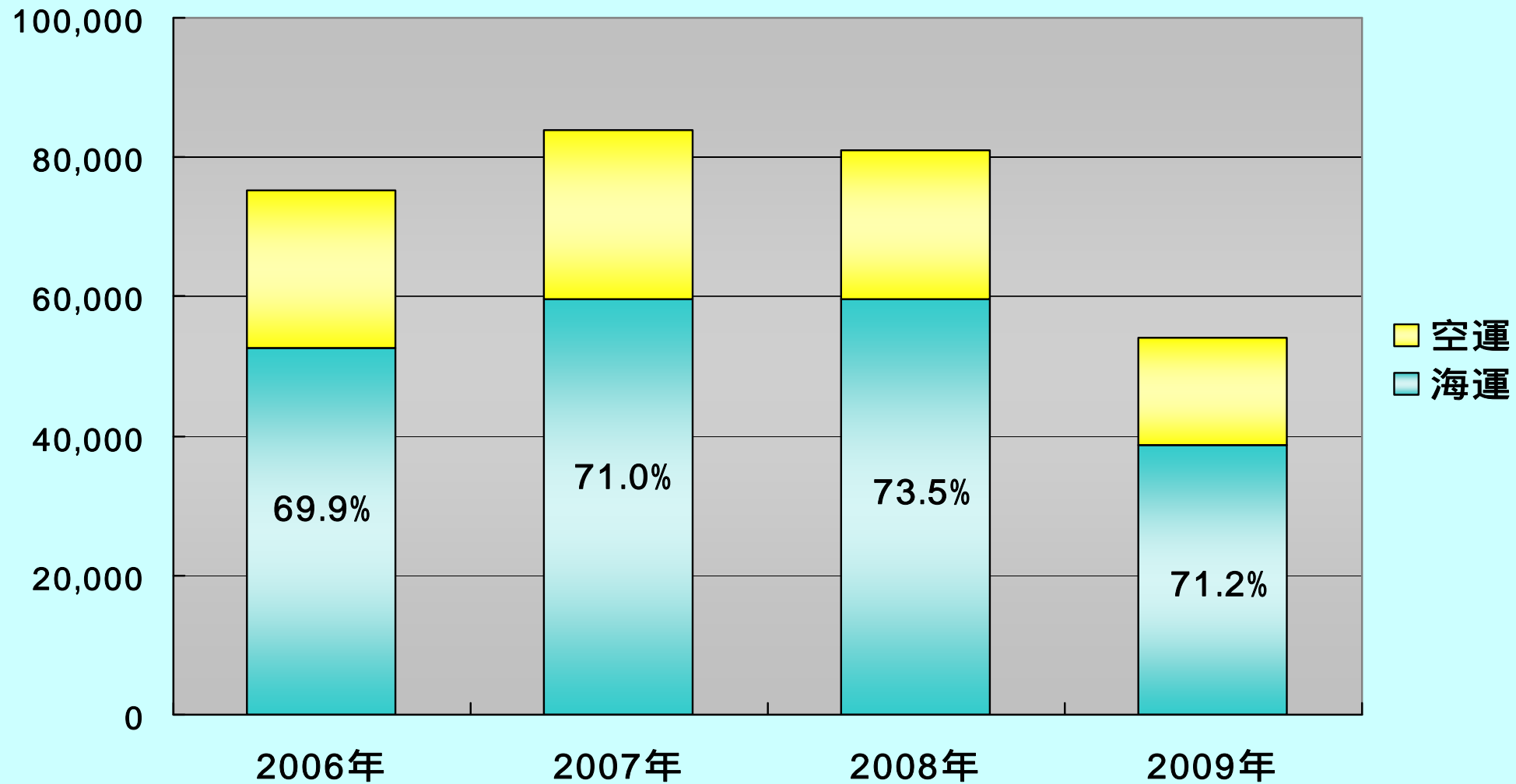
高品質サービスで顧客の信頼を得ています

. マーケット環境



日本の輸出における海運の比率

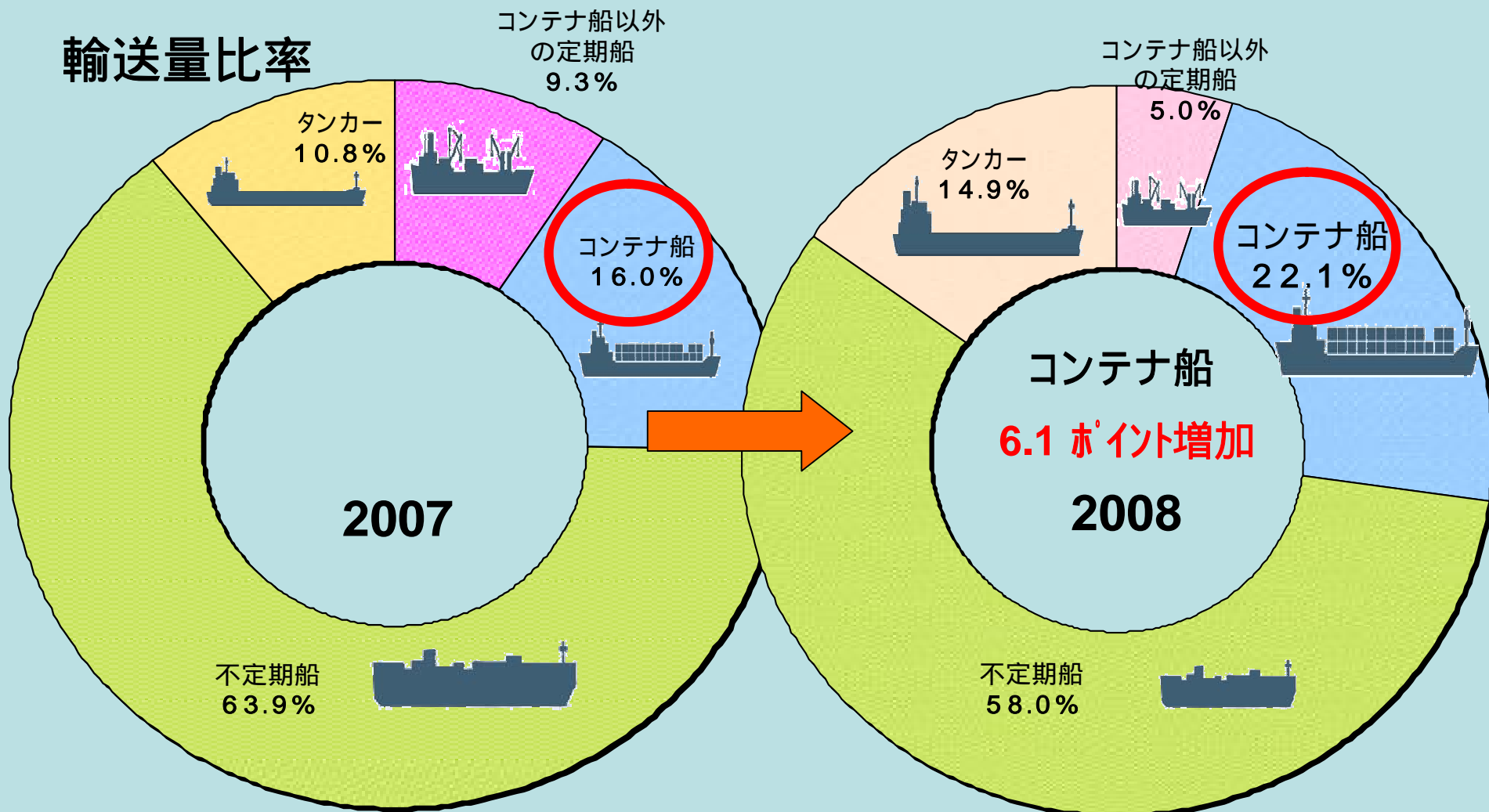
(単位: 百万円)



出典: 財務省「日本貿易統計」

海運(輸出)におけるコンテナ船の比率

輸送量比率

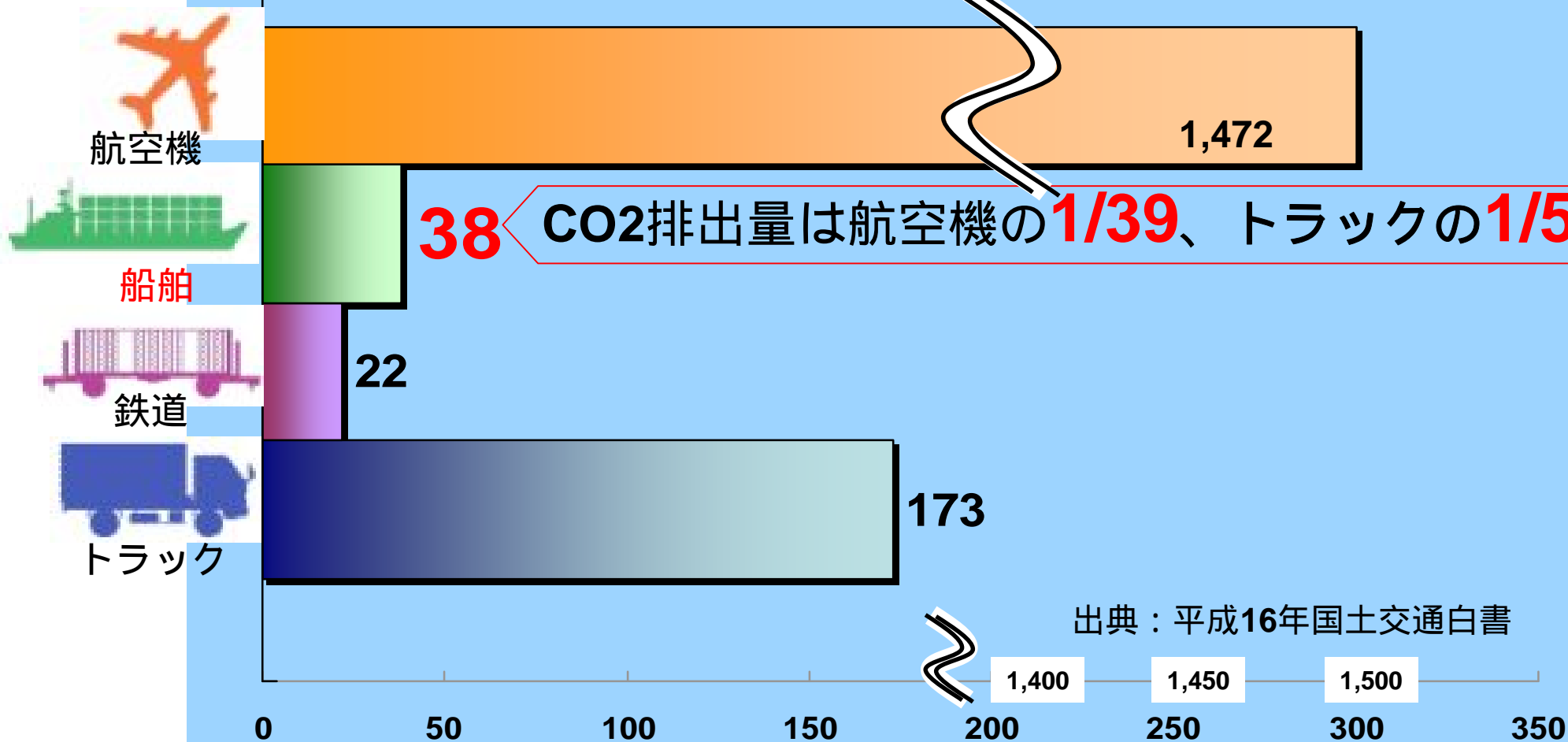


出典:国土交通省「2008年度海事レポート」

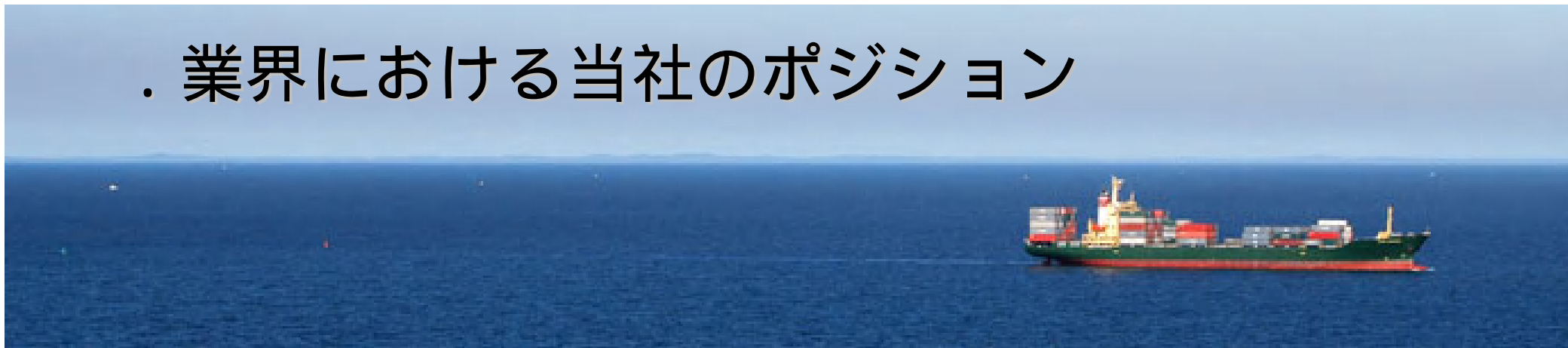
出典:国土交通省「2009年度海事レポート」

環境にやさしい海上輸送

貨物1 トンを1 km運ぶ際のCO2排出量 (g-CO2/トンキロ)



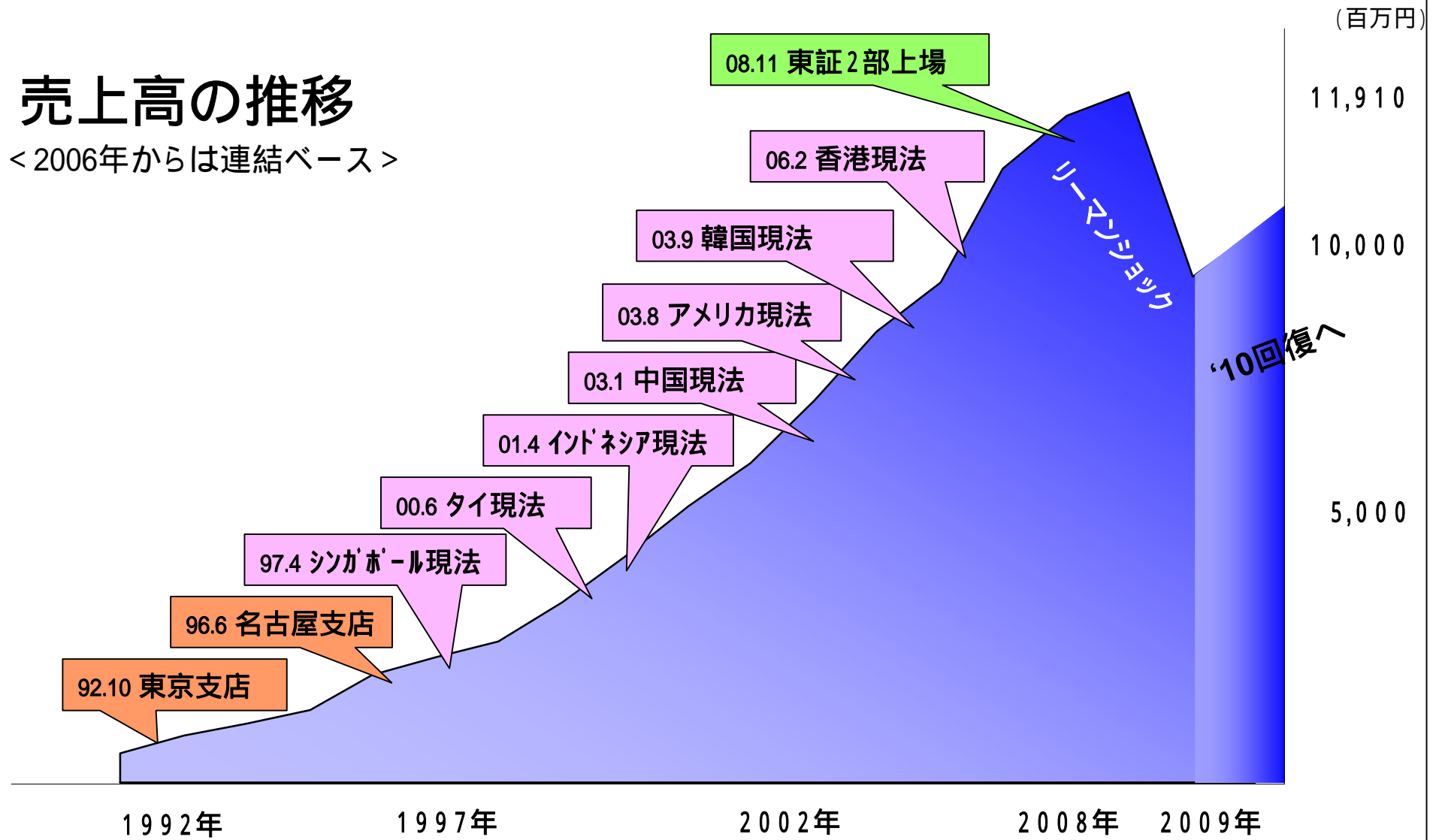
・ 業界における当社のポジション



当社成長の歩み

売上高の推移

< 2006年からは連結ベース >



当社の強み

強み	効果
設備を持たないノン・アセット経営	相対的に高い収益構造
系列に属さない独立経営	系列にとらわれないサービスの提供
船会社や倉庫会社のブランド性	顧客からの厚い信頼獲得
海運の専業である	航空貨物から海上輸送へのシフト化傾向
輸出を主力としている	収益性が相対的に高い
アジア市場向けを主力としている	成長性が相対的に高い

お客様に支持される理由

高シェア獲得

顧客ニーズに
柔軟に対応

業者横断的
仕入が可能

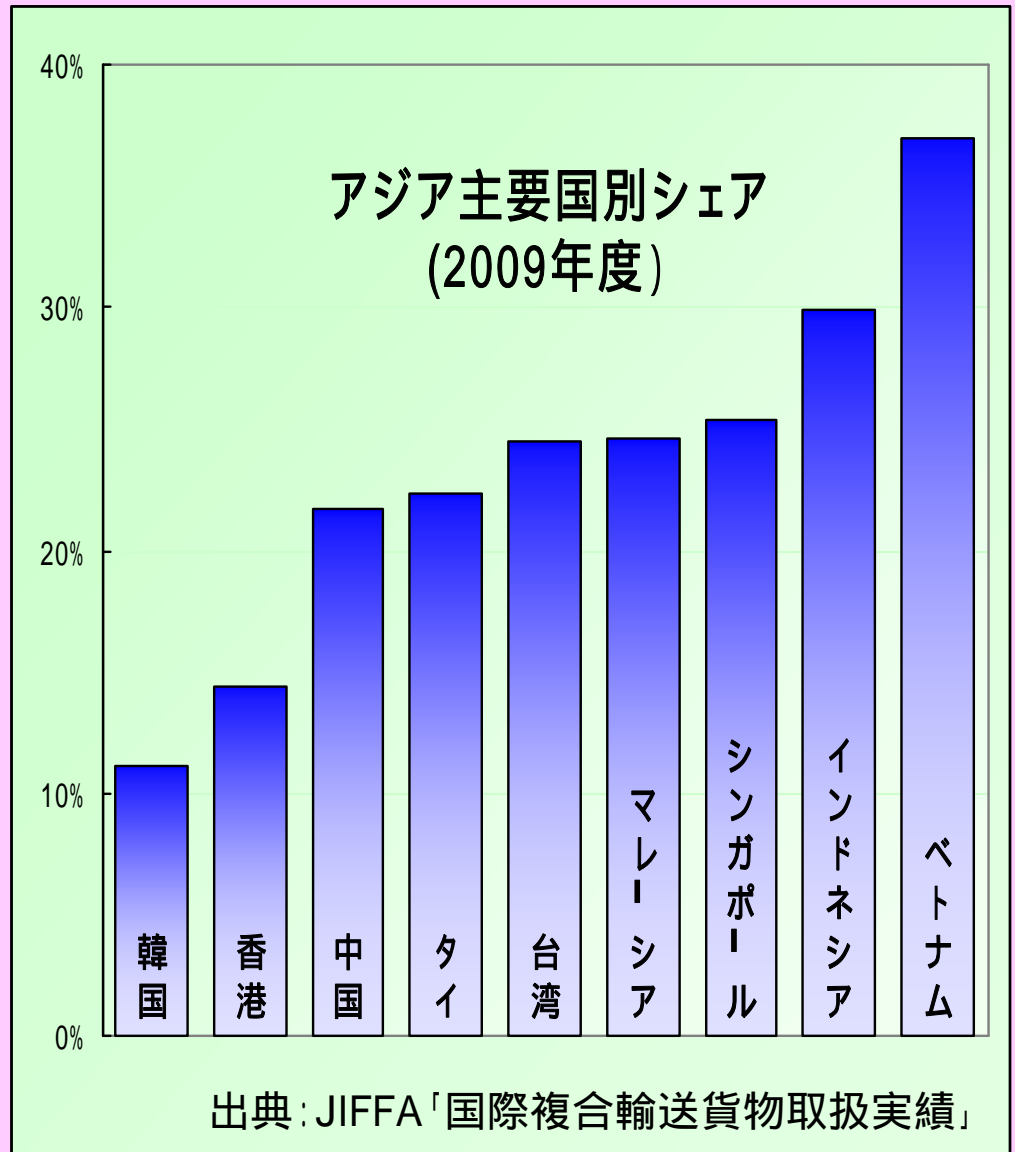
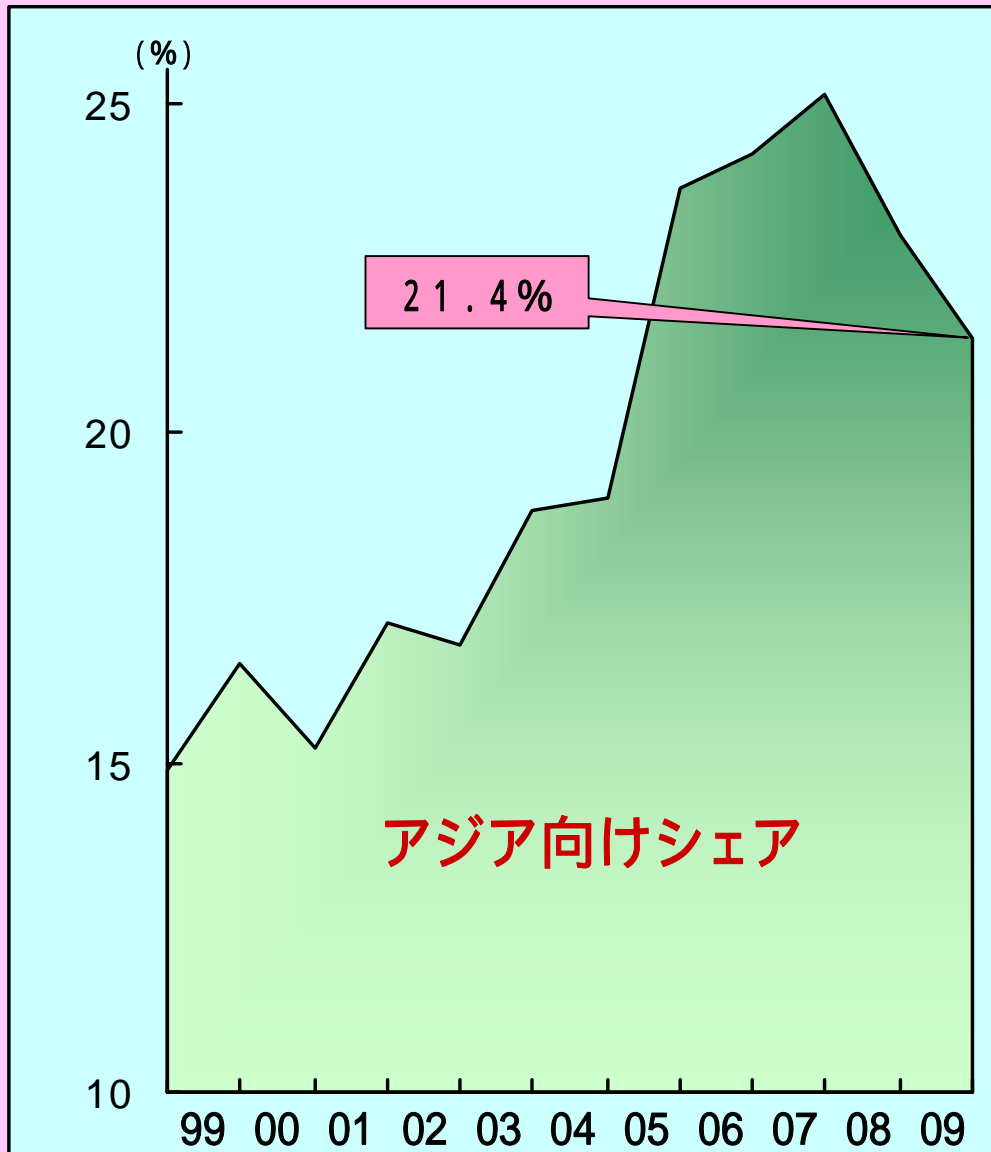
充実した顧客基盤

高い混載率を維持

豊富な運行スケジュール

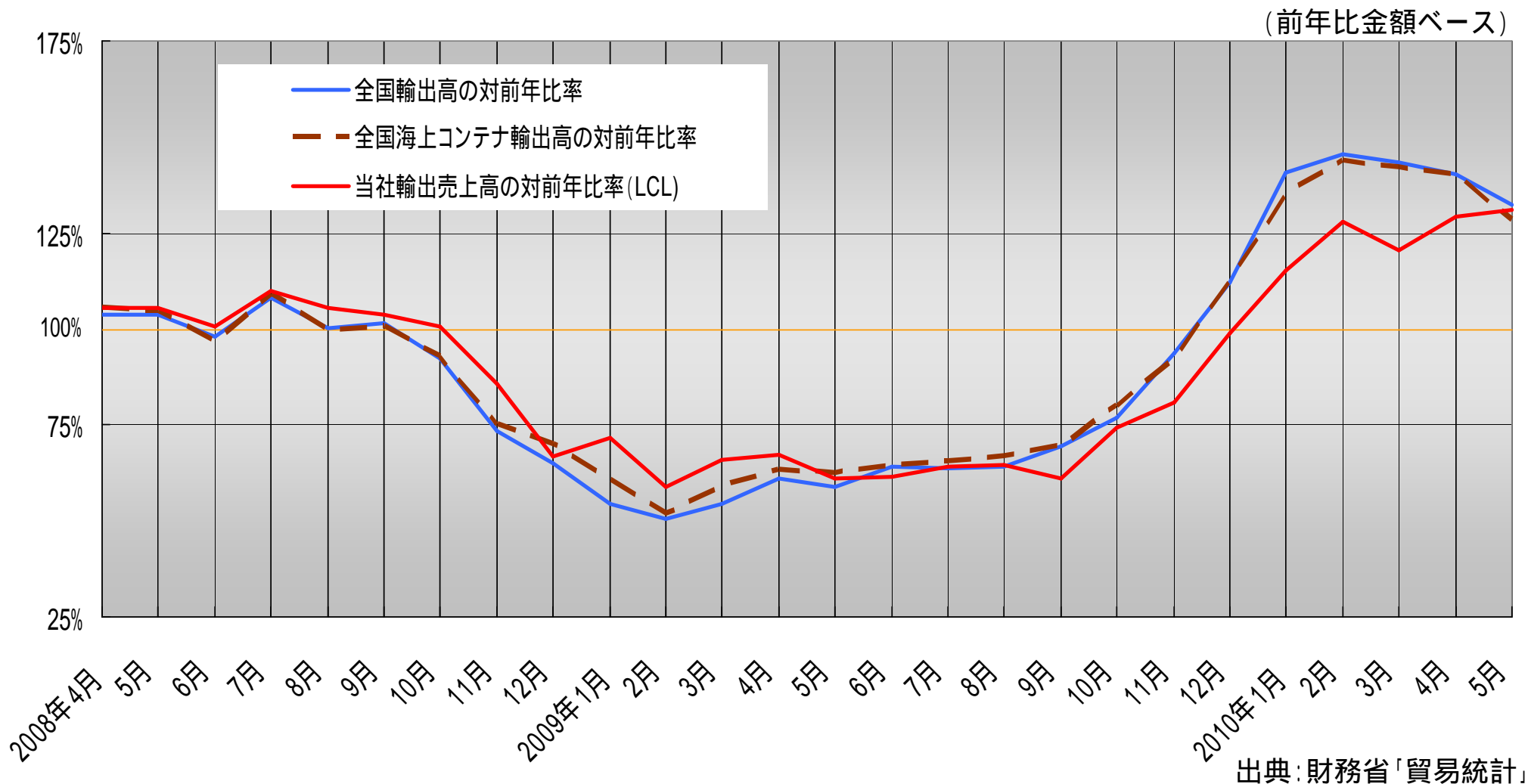
豊富な仕向地

日本の混載輸出(輸出LCL)における当社のシェア

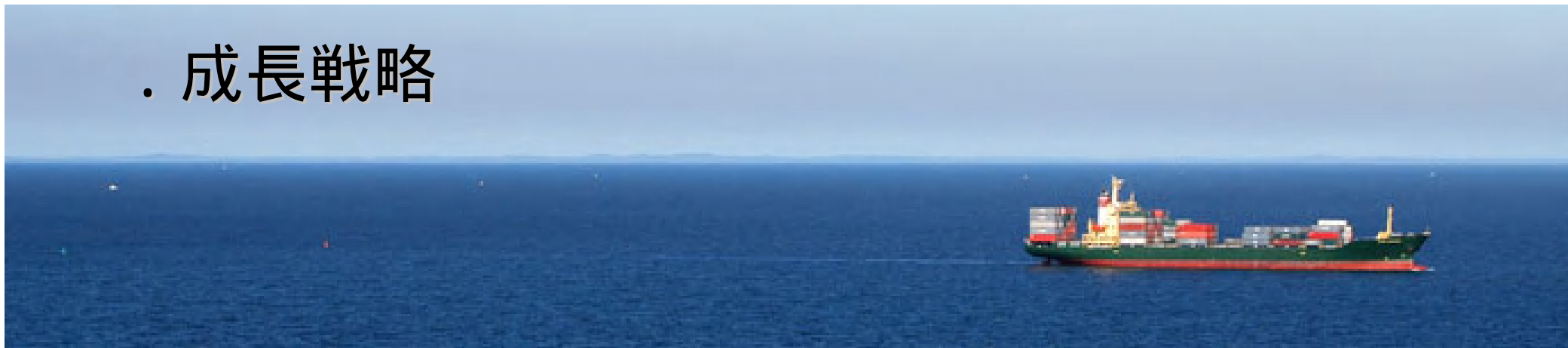


足下の業界全体と当社の状況

08年から10年4月の対前年比率



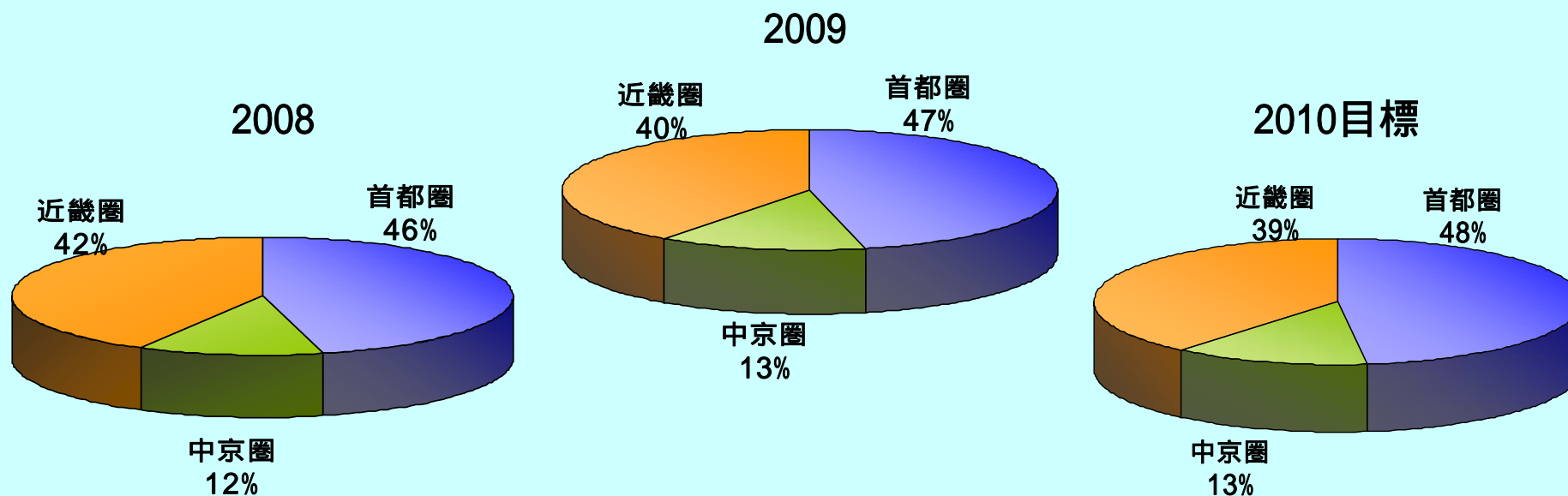
・成長戦略



1. 首都圏・中部圏の営業力強化
2. 輸入ビジネスの強化
3. 海外ネットワークの強化と事業領域の拡大

1. 首都圏の営業力強化

三大都市圏輸出売上割合



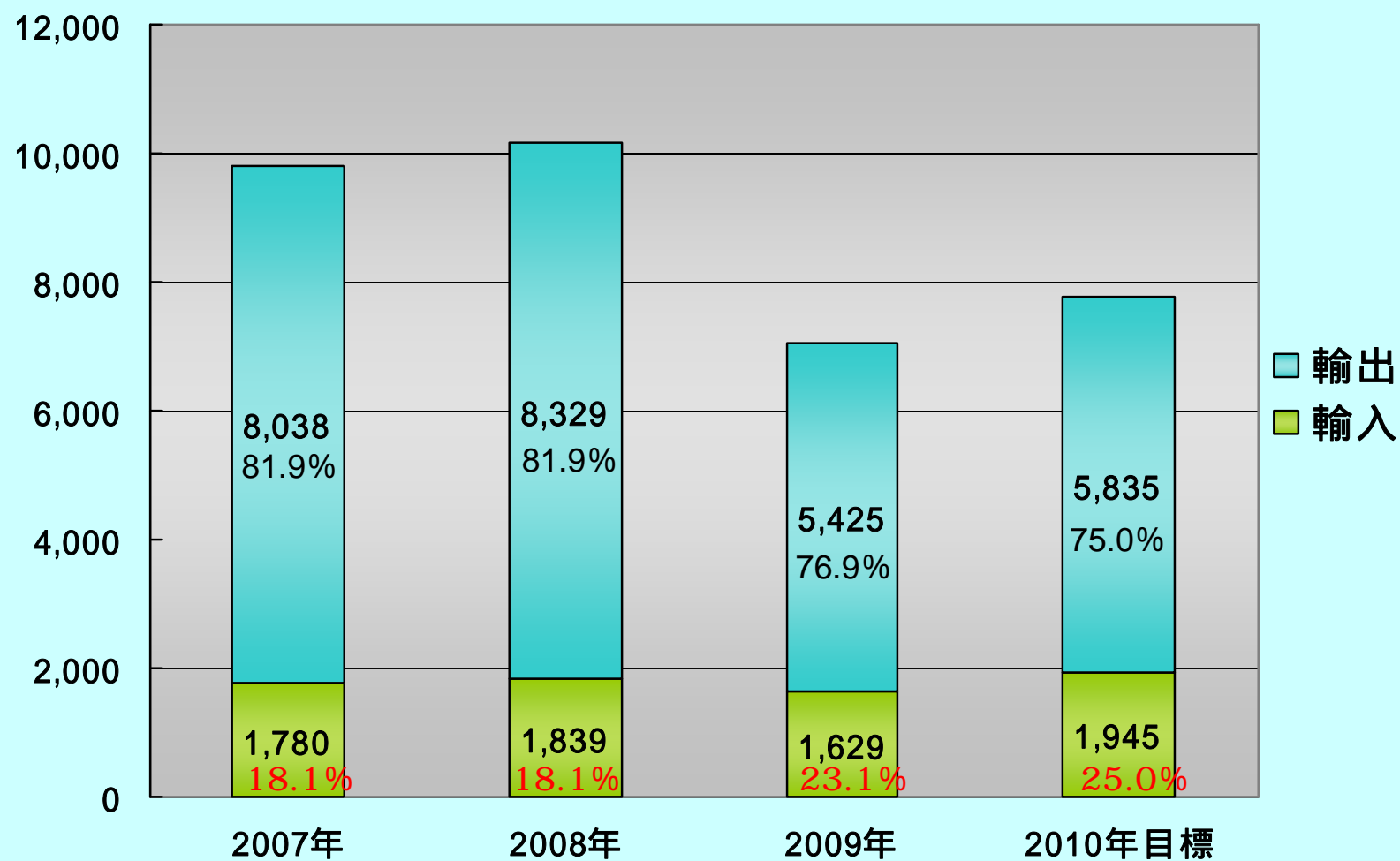
首都圏営業組織の強化

2008	2009	2010
27 人	28 人	33 人
1部3課	2部4課	2部5課

2. 輸入ビジネスの強化

当社売上における輸出・輸入割合(単体)

(単位:百万円)



3. 海外ネットワークの強化と事業領域の拡大

国際総合フレートサービスの展開

Port to PortからDoor to Doorへ

拠点展開 → 点から面への拡大

中国・西アジア・米国東海岸

ヨーロッパに新拠点

M&A、業務提携の推進

通関事業

倉庫事業・3PL

トラック事業

日本国内

アジア・中国

欧米

充実のグローバルネットワーク

海外ネットワークと重要拠点



■ ‘日本の主要港’から“世界の主要港”へ

- 日本全国の主要11港から世界各国に向け、豊富な運航スケジュール
- 当社現地法人（7現法・11拠点）と世界各地の有力代理店による、充実のネットワーク

- 当社現地法人（直行便開設）
- ▲ 代理店（直行便開設先）
- その他の主な代理店

・業績と株価の推移

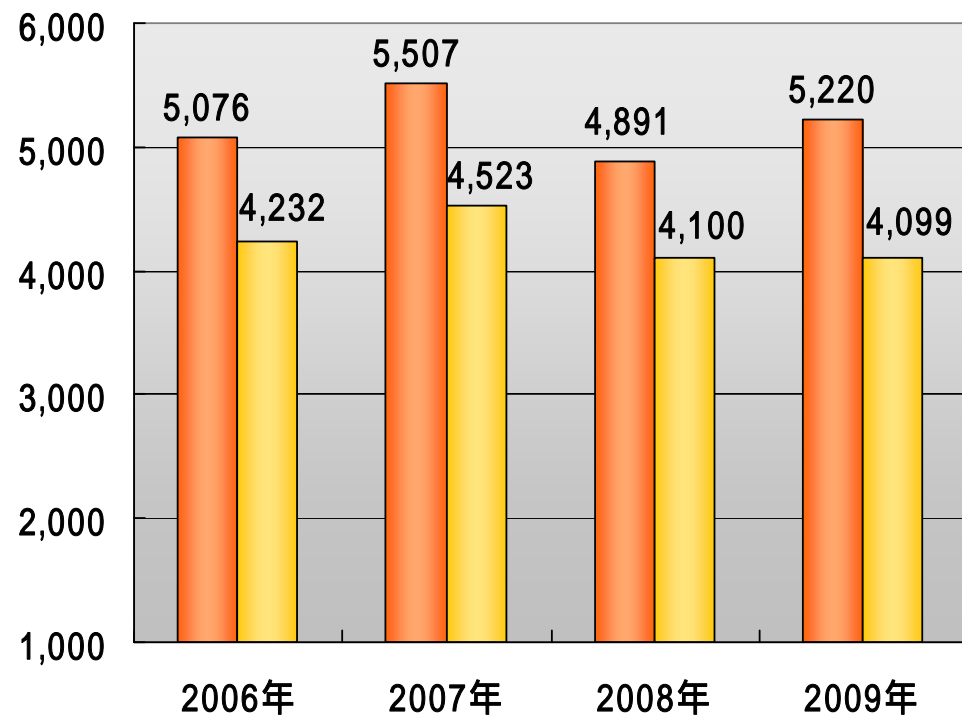


連結業績の推移

1. 連結総資産・純資産

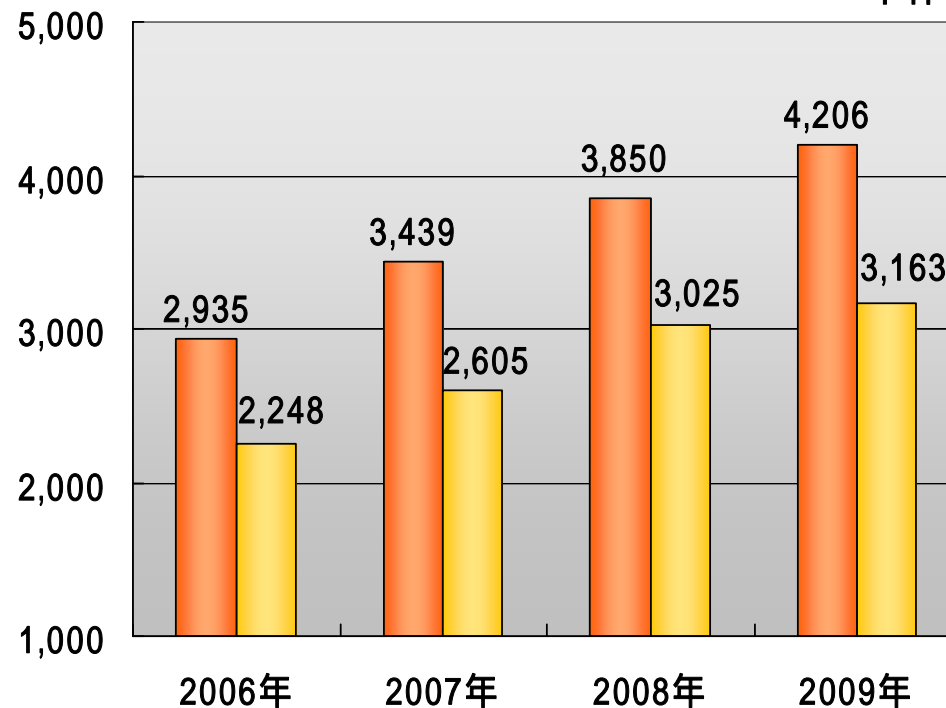
(単位:百万円)

総資産



純資産

■ 連結
■ 単体



健全な財務体質

高い自己資本率

'08 78.3% '09 80.0% (連結)

無借金経営

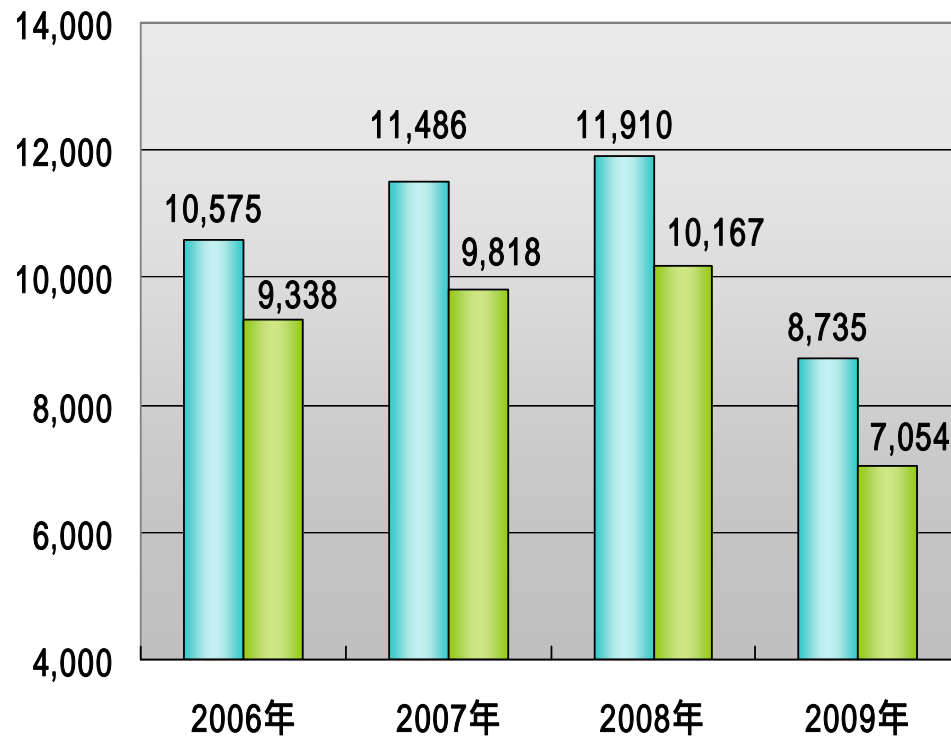
'08より 借入金 0

連結業績の推移

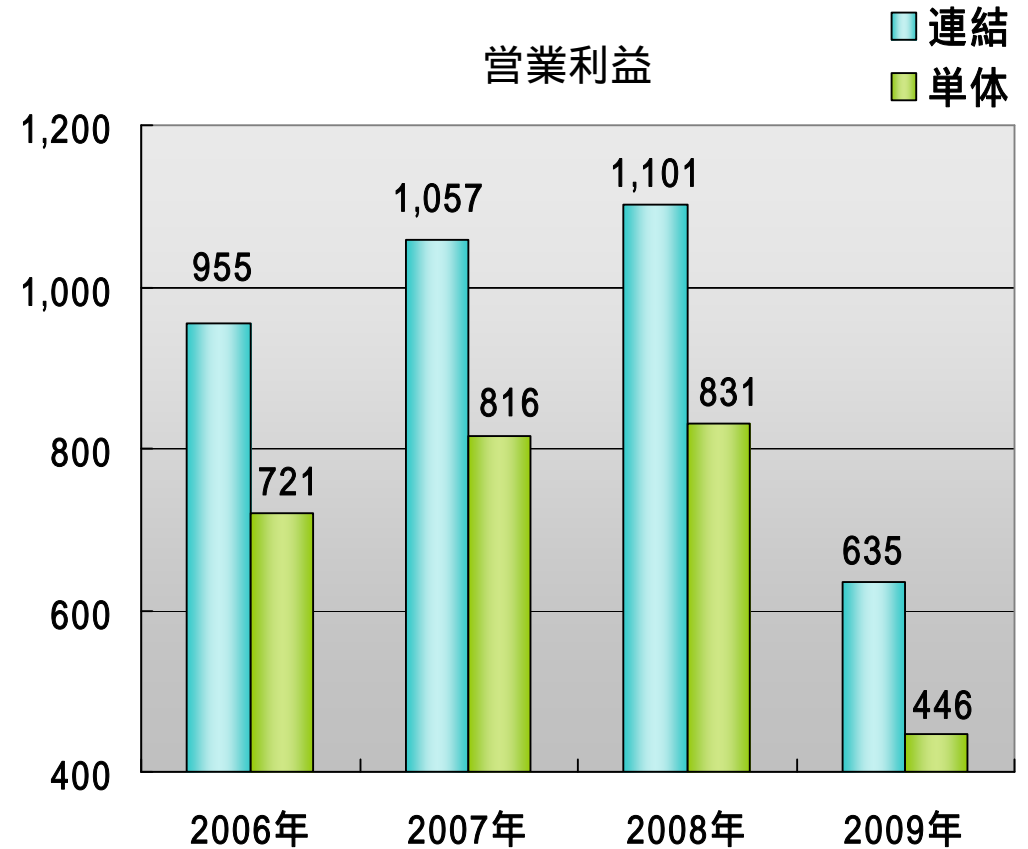
2. 連結売上高・営業利益

(単位:百万円)

売上高



営業利益



'09年は世界経済の大減速により当社業績も大きな影響を受ける

'08年までの右肩上りの成長が止まり、初の減収に

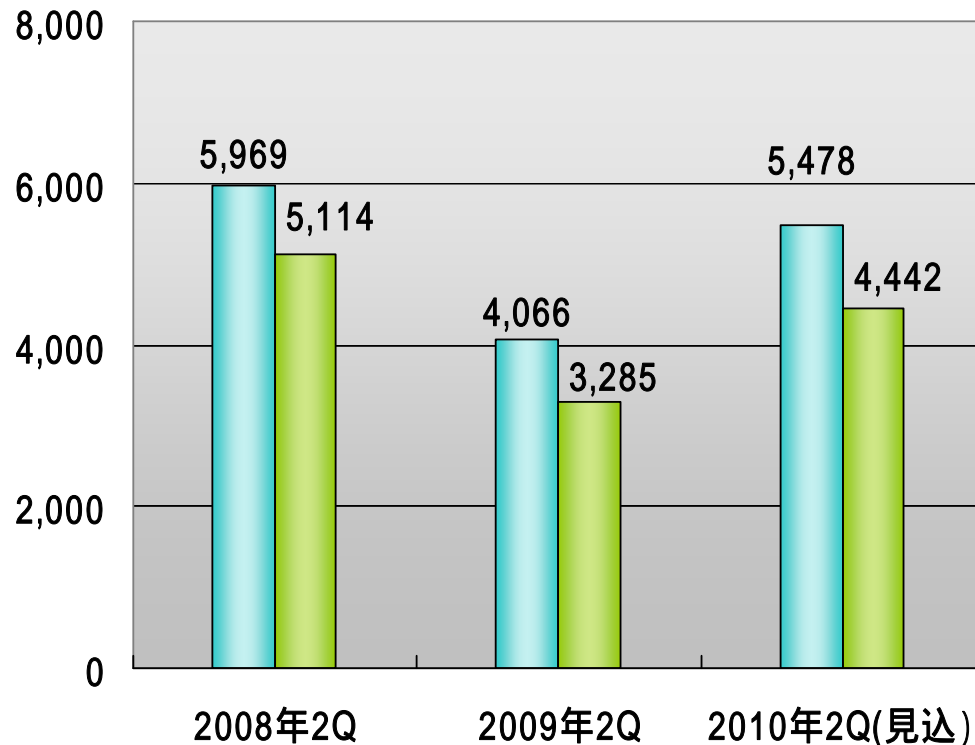
連結売上高26.7%減、 連結営業利益42.3%減

連結業績の推移

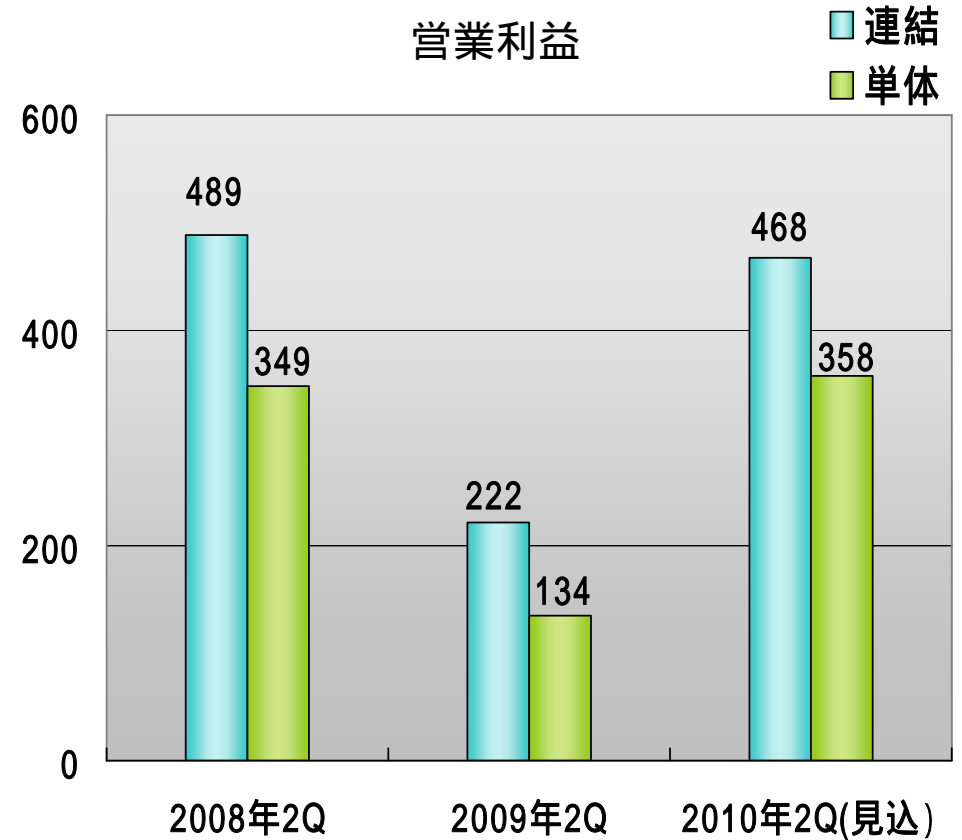
3. 第2四半期 連結売上高・営業利益(見込)

(単位:百万円)

売上高



営業利益



当期は再び回復基調に

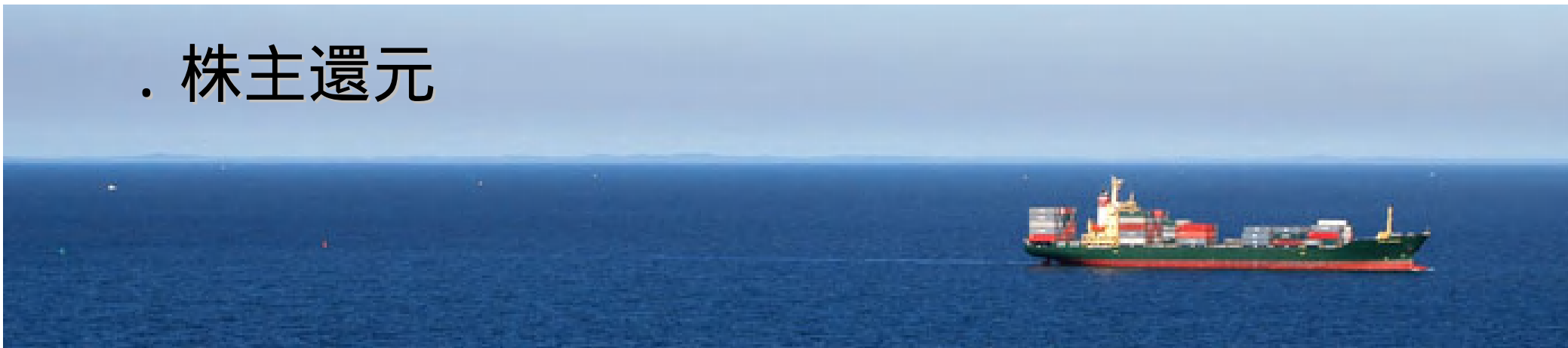
‘09年のリーマンショックを乗り越え’10年は急回復へ

第2四半期対前年比 連結売上高34.7%増、連結営業利益111%増(見込)

株価の推移

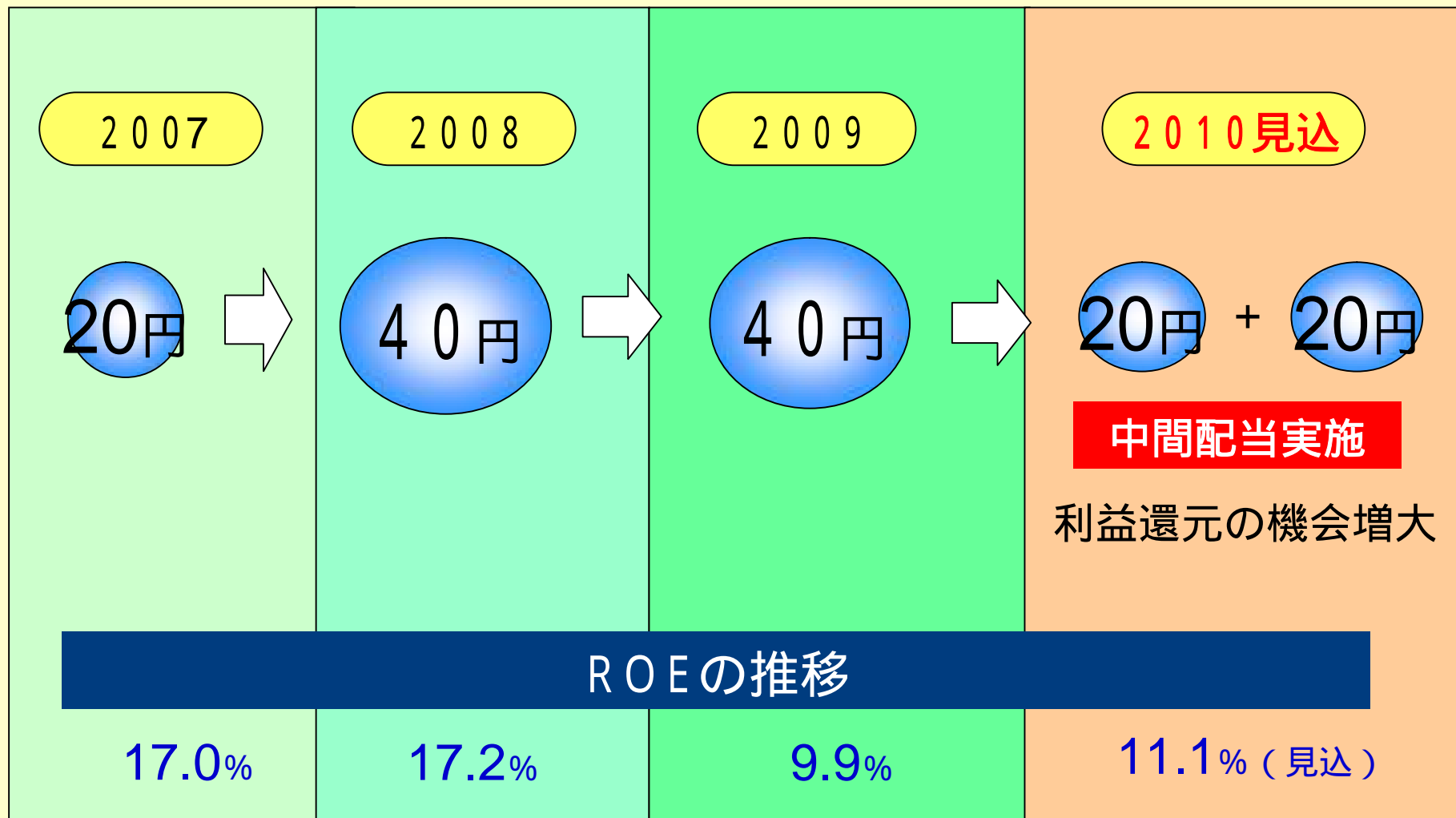


. 株主還元

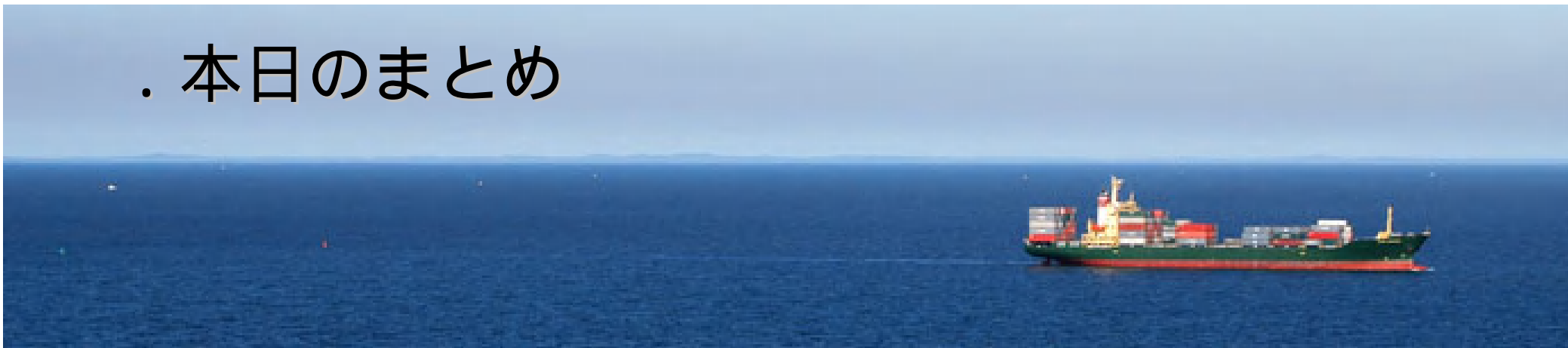


株主への還元

1株当たり配当の推移



. 本日のまとめ



本日のまとめ

1. 当社の強み

- ・ ノン・アセットの効率経営
- ・ 高い成長を誇るアジアが主力
- ・ 高品質サービスと顧客の厚い信頼
- ・ 安定した業績と健全な財務体質

2. 経営目標

- ・ 売上と利益の拡大
首都圏の営業力強化
輸入ビジネスの強化
- ・ グローバルネットワークを確立し、世界屈指の国際総合フレートフォワードナーに

3. 株主還元

- ・ 「株主への還元」は当社重要政策
- ・ 収益力を強化し配当性向の向上をめざす

ご清聴ありがとうございました



内外トランスライン株式会社
NAIGAI TRANS LINES

取締役総務部長 三根 英樹

TEL 06-6260-4800

FAX 06-6260-4719

URL <http://www.ntl-naigai.co.jp>

本資料に記載されている計画や見通し、戦略などは既に具体化している事実を除き、本資料の作成時点で取得可能な情報に基づくものであり、これらにはリスクや不確実性が内在しております。そのため、実際の業績などは本資料に記載の見通しや予想とは異なる結果となる可能性があり、その内容を保証するものではありません。